

◆ 住宅の温度・湿度測定 ◆

住宅における温度及び湿度の管理は、快適で健康的な生活環境を保つために重要な要素です。

高気密高断熱住宅では、換気を怠ると湿度が高くなる傾向があるため、カビの発生リスクが高まります。カビが発生すると、見た目だけでなく、空気中に飛散している大量の胞子を吸い込むと健康被害を引き起こす原因となるとされています。

カビが好む環境※

- ・ 温度 : 20~35℃前後
- ・ 湿度 : 70%以上
- ・ 栄養源等 : 手アカなどによる汚れ、石けんカス、壁紙及び壁紙のノリ、結露した水 等



※東京都福祉保健局「健康・快適居住環境の指針（夏の住まい方）」より

今回は、住宅の居室と床下の温度と湿度を7日間測定した事例をご紹介します。

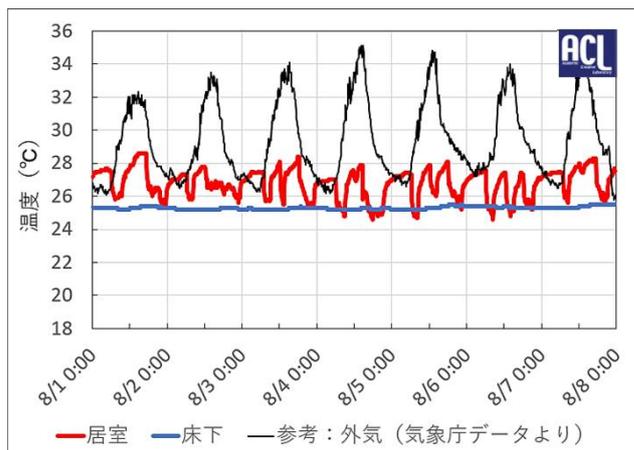


図1 温度測定結果

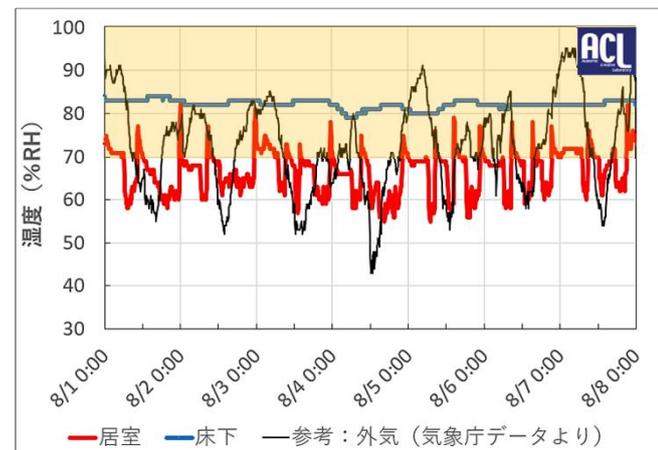


図2 湿度測定結果

測定の結果、湿度に着目すると居室はおおむね70%未満でありましたが、床下はほぼ80%以上であることがわかりました。このような環境下において、結露した水などのカビの栄養源となるものが存在していた場合、カビが発生する可能性が考えられました。

このように継続的な温度・湿度測定は現在の住宅環境の状況を把握することができる有効な手法です。また、測定期間も条件によって数か月単位で測定することも可能です。

(測定環境や条件によって対応できない場合もございますのでご相談ください。)

お問い合わせ先

株式会社 分析センター URL <https://www.analysis.co.jp/>

環境評価事業部 〒131-0032 東京都墨田区東向島1丁目12番2号

TEL 03-3616-1612 FAX 03-3616-1615

会社HP

分析無料ご相談

